

会 議 録

会 議 の 名 称	平成２６年度 子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第１回）
開 催 日 時	平成２６年５月１４日（水） 午前１０時から午前１１時まで
開 催 場 所	市役所本庁舎２階 第３・第４委員会室
出 席 者	金子 廣志 宮川 みさ子 菅原 久美子 高橋 靖子 須田 邦彦 荒井 マサ子 石原 志穂 弘中 幸伸 淡路 庸子 土屋 賢治 友成 茂 磯貝 幸子 大熊 正 計１３名
事 務 局 職 員	生涯学習スポーツ課 谷口副課長、富樫主査、藤田主事、天倉主事
会 議 内 容	１ 開会 ２ 挨拶 ３ 委嘱 ４ 委員長及び副委員長の決定について ５ 議事 （１）子どもの放課後居場所づくり事業運営状況 （２）新規開設校進捗状況について （３）今後の予定について （４）その他 ① 夏季等の開設時間等について ② 児童の早帰り及び帰宅方法について ６ 閉会

会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料 ① 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 学年別登録者数 ② 実施校児童参加実績 ③ 平成２６年度新規開設校進捗状況 ④ 今後の予定（運営委員会） 今後の予定２（実行委員会等） ⑤ 新座市子どもの放課後居場所づくり事業実施要綱 ⑥ 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会設置要綱
そ の 他 の 必 要 事 項	特になし

審 議 の 内 容 （審議経過、結論等）

1 開会（藤田主事）

2 挨拶（金子教育長）

3 委嘱

新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会設置要綱に基づき、教育長が委員を委嘱した。

なお、任期は平成28年3月31日までであり、欠席者からは委嘱について事前に了解を得ている。

委嘱状交付の後、出席委員全員が自己紹介を行った。

4 委員長及び副委員長の決定について

事務局の提案により、次のとおり承認をいただいた。

委員長…教育長

副委員長…小学校校長会 宮川みさ子氏

5 議事

(1) 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営状況

ア 資料1～3ページのとおり報告した。また、次のとおり説明を行った。

（資料1、2ページ）

- ・ 東北ココフレンドについては、登録児童数が昨年度より約20%増加している。
- ・ 東野ココフレンド及び新堀ココフレンドについては、登録児童数が昨年度よりも少ないが、本年度末には同程度の登録者数になると予想している。
- ・ 石神ココフレンドについては、昨年度と同程度の登録者数である。
- ・ 四小、野寺ココフレンド（本年度新規実施校）については、4月23日（水）から25日（金）までの期間で申込みを受け付けた。申込者数であるが、四小ココフレンドが全校生徒の約2割、野寺ココフレンドが約3割となっている。両校共に、保護者の認知度はまだ低いようである。
- ・ 全体として、低学年の登録率が高学年よりも高くなる傾向があるが、これは、本事業開始当初から変わらない。

（資料3ページ）

- ・ 参加人数については、全体的に昨年度と同じ状況である。保護者会等がある際には増加傾向にある。
- ・ 既存校4校の1年生は5月7日（水）から開始したため、資料には載っていないが、20名ほどが参加している。今後、徐々に増加していくと考える。

イ 東北ココフレンド及び東野ココフレンドコーディネーターから運営状況を報告した。

なお、昨年度までは各校のコーディネーター1名を運営委員として選出していたが、今後開設校が増えていくことを考慮し、各年度の開設校のコーディネーターから1名を選出することとした。

(東北ココフレンド 土屋コーディネーターから)

- ・ 昨年度開設した。すでに開設していた東野、石神ココフレンドを見学させてもらい、参考にした。
- ・ 1年経過して、児童も慣れてきたようである。
- ・ ゲーム機を持ってきて良いか質問されたことがある。
→学校に持ってきてはいけないもの(ゲーム機も)は、ココフレンドにも持ってきてはいけない。
- ・ 年度途中から参加する児童もあり、本年度の登録者数は300名を超える勢いである。
- ・ 参加者は多い時で60名を超えることもあり、机や椅子が足りなくなってしまう。スタッフルームの近くの教室を借りられればありがたい。
スタッフの体制を考えると、参加者数は30名程度が適当だと思う。
- ・ 上級生は1年生に教えてあげたり、参加カードの返却や下校時の旗持ちを自主的に手伝ってくれたりして、スタッフも助かっている。
- ・ 何よりもケガ、特に首から上のケガが心配である。児童が頭を打った時は、保護者に連絡し迎えに来てもらった。保護者には誠意を持って謝罪するなど、対応についてスタッフ全員に周知していきたい。

(東野ココフレンド 磯貝コーディネーターから)

- ・ 東野ココフレンドの児童はとにかく元気で、その分ケガも多い。骨折する児童が出たことも数回あった。首から上のケガについては、必ず保護者に迎えに来てもらい、状況を説明し、病院に行くことを勧めている。
また、ケガ人が出た時は、「報・連・相メモ」を活用し、必ず事務局と学校側にも報告している。「報・連・相メモ」は、事務局で作成したものを元に、東野ココフレンドからの報告であることが一目で分かるよう、独自のものを作成した。
- ・ 参加者数は平均30～40名だが、100名を超えることもある。コーディネーター1名もしくは2名に加え、スタッフは毎回4名はいるが、参加者が多いことが予想される日は、スタッフを増員している。
スタッフルームだけでは足りないのので、図工室や図書室も使っており、児童が大声を出すことなどがないよう、必ずスタッフが見守るようにしている。
- ・ 学年の隔たりなく遊べるのがココフレンドの良いところだと思う。
- ・ 校長先生や教頭先生には、いろいろとお声掛けいただき御協力をいただいております、ありがたい。

(2) 新規開設校進捗状況について

ア 資料4ページのとおり説明を行った。

イ 野寺ココフレンドから状況を報告した。

(野寺ココフレンド 友成コーディネーター)

- ・ 東北、新堀ココフレンドを視察した。
- ・ スタッフが協力して教室の飾付けを行っている。
- ・ 登録者は現在201名だが、今後増加していくと思う。
- ・ 参加者が多い時には、図工室を使っていこうと考えている。
- ・ 雷雨や地震など緊急時に備えて、スタッフ同士で共通理解を図り始

めている。

- (3) 今後の予定について
資料 5、6 ページのとおり説明を行った。

- (4) その他

- ① 夏季等の開設時間等について
次のとおり協議を行った。

事務局

実施要綱に基づき、夏季等の開設時間は午前 8 時 30 分から正午までとしているが、平成 24、25 年度に実施したアンケートで、「午後の時間帯も開設してほしい」という意見がいくつかあった。また、新座市議会定例会でも同じ意見が出されたため、御協議いただきたい。

午後も開設する場合、ココフレンドでは飲食をしないこととしていることから昼食の問題や、スタッフの勤務体制の問題も発生するが、どうか。

委員

社会的な要請があれば仕方がないと思う。スタッフの勤務体制を考えると微妙だが、今の体制でも不可能ではない。例えば、午前の部、午後の部で分けることもできると思う。

委員長

昼食についてはどうか。

委員

飲食はしないこととなっているので、正午になったら一度帰宅させても良いと思う。

委員

そのような対応は、放課後児童保育室に任せたほうが良いのではないか。そこまで対応してしまうと、きりが無いと思う。

委員長

どちらにせよ、当面の目標は開設校を増やしていくことであるから、本件については今後の検討課題とする。

- ② 児童の早帰り及び帰宅方法について
次のとおり協議を行った。

事務局

活動時間中に早帰りをする場合は原則として、保護者や祖父母、もしくは兄弟にお迎えをお願いしていることを改めて確認させていただきたい。

また、新規開設校の第四小学校は学区が広く、同じ学区内でも家が遠い児童は、下校に 1 時間ほどかかるため、安全面が懸念されている。石神ココフレンドでも同じような懸念がある。状況に応じて終了時間を早めるなど柔軟に対応していきたい。

委員

以前、兄弟で参加していた児童が塾に行くため二人で一緒に早帰りを希望したことがあった。お迎えがなければ早帰りはできないということを保護者に伝えたところ、「迎えに行くのが兄弟でも良いのに、兄弟で参加していて一緒に早帰りすることを認められないのはおかしい。」と言われた。塾の時間が迫っていたため、その時は早帰りを許可したが、今後どうすれば良いか。

委員長

そのような場合は柔軟に対応して良いと思う。

委員

友達と一緒に早帰りするのはどうか。

委員

一人で下校すれば、危険は倍増する。複数で下校するのなら問題ないと思うがどうだろうか。

委員

下校途中から一人になってしまうことについてはどうか。

委員

家が隣同士の児童でない限り、最後は誰でも一人になると思う。

委員

最初から一人で下校させることはできないが、途中から一人になることまで考えては、きりが無い。

委員

児童と同じ方向に帰るスタッフが、途中まで付いて行ったこともある。スタッフは、毎日出勤してくれる方もいるがかなり負担となっており、数が足りていない。

委員長

例えば、月に1回はお迎えに来ていただくよう、保護者にお願いすることもできると思う。不審者対策にもなる。犯罪者は、一人でいる子供を狙うと聞いた。地域の方が児童にあいさつしてくださるだけでも不審者対策になる。

委員

お迎えに来る保護者は、何人くらいか。

事務局

新堀ココフレンドは3割程度がお迎えに来ているが、その他のココフレンドはほぼゼロに近い。

委員

参加カードに、帰宅方法（お迎え、集団下校等）の記入欄があり、ほとんどの児童が集団下校を選んでいる。保護者は、お迎えに行く必要はないと思っているのではないか。

委員

お迎えに来る人が、同じ方面に帰る児童のことを見てくれないのか。

委員長

お迎えに来る人のほとんどが早帰りをする児童の保護者等なので、お願いできないのだと思う。難しい問題であるが、地域をあげて防犯活動に力を入れていただけるよう、働きかけが必要である。

（結果）早帰りについては、状況に応じて柔軟に対応していく。

6 閉会（藤田主事）